

# 現金及び預金

## (1) 現金

### ① 現金とは？

「現金」とは、お金のことで紙幣や硬貨はもちろんのこと、小切手（後述の(3)当座預金参照）や郵便為替証書、配当金領収証なども銀行に持って行けばその場ですぐに現金化できるので、現金勘定で処理をします。

### ② 現金の仕訳

現金は、資産なので、借方で増加を表します。

（例題1）銀行からお金を100万円借り入れた。

仕訳 （借）現金 100万円 （貸）借入金 100万円

（解説）現金（資産）が増えたので（借）に現金勘定を、借入金（負債）が増えたので（貸）に借入金勘定を記載します。

（例題2）借入金100万円を現金で銀行に返した。

仕訳 （借）借入金 100万円 （貸）現金 100万円

（例題3）商品150円を売り上げ、代金として小切手を受け取った。

仕訳 （借）現金 150 （貸）売上 150

（例題4）所有している株式の配当金2,000円を配当金領収証で受け取った。

仕訳 （借）現金 2,000 （貸）受取配当金 2,000

（↑収益）

## (2) 現金過不足

### ① 現金過不足とは？

毎日仕訳を切っていたのに、ある日現金残高を集計してみると帳簿上は 500 円の現金残高のはずが、実際には 100 円玉 4 枚の 400 円しか手元に無かった場合のこの不足分 100 円を「現金過不足」と言います。

### ② 現金過不足の仕訳

(例題 1) 下記の仕訳を切っていたが、1 月 4 日に金庫を見てみたら 150 円しか硬貨が無かった。1 月 4 日の仕訳はどうなるでしょうか？

1 月 2 日 (借) 現金 200 (貸) 売上 200

1 月 3 日 (借) 現金 100 (貸) 売上 100

帳簿上の残高は、 $200+200=300$  なので 150 円どこかに行ってしまった。

仕訳 1 月 4 日 (借) 現金過不足 150 (貸) 現金 150

(解説) この仕訳により帳簿上の現金残高が  $200+100-150=150$  円になり、150 円硬貨と一致します。この差額が分かるまで一時的に調整する勘定科目が現金過不足勘定です。

(例題 2) 1 月 5 日になり、実は 1 月 2 日に 150 円でノートを購入していた領収書が出てきた。仕訳はどうなりますか？

仕訳 1 月 5 日 (借) 事務用品費 150 (貸) 現金過不足 150

(解説) 領収書の仕訳を 1 月 2 日に切り忘れていたために帳簿上の現金残高が少なかった一例です。すでに 1 月 4 日に現金の残高を合わせるために調整勘定である現金過不足を使用しているので、今回のように後日判明した場合には、この現金過不足を使って漏れていた科目の修正を行います。

※今回は、過不足の原因がわかりましたが、もし決算日までに判明しなかった場合には、別の処理になります。この処理については、後日解説します。

### (3) 当座預金

#### ① 当座預金とは？

銀行で「**当座預金**」を開設すると小切手帳と呼ばれる、電車やバスの回数券のようなつづりがもらえ、1枚1枚に金額を記載してその都度その紙をちぎって支払いに使います。そして、小切手をもらった相手はこれを自分の銀行に持って行けば現金になるので、(1)で習った現金勘定を使用します。

当座預金は、私達が持っている普通預金とは違い、この小切手を使用するための口座であり、利息も付きません。当座預金に1,000万円あれば、1,000万円まで小切手に書いて仕入先に支払うことが出来るので、実際に1,000万円を持ち歩くよりはるかに危険が少ないという仕組みです。

#### ② 当座預金の仕訳

当座預金は資産なので、増加は借方です。

(例題1) 現金1,000円を当座預金に預け入れた。

仕訳 (借) 当座預金 1,000 (貸) 現金 1,000

(例題2) 商品400円を仕入れ、小切手400円を振り出して支払った。

仕訳 (借) 仕入 400 (貸) 当座預金 400

(例題3) 上記のケースで、小切手を受けとった側の仕訳はどうなりますか？

仕訳 (借) 現金 400 (貸) 売上 400

(例題4) 商品300円を売り上げ、代金として先方から小切手を受け取り、すぐに自分の当座預金に預け入れた。

仕訳 (借) 現金 300 (貸) 売上 300

(借) 当座預金 300 (貸) 現金 300

(解説) 他人が振り出した小切手を受け取った場合には、現金勘定で処理することは(1)の現金のところの説明しました。そして、本問はその後すぐに当座預金に預け入れたとあるので、現金を減らし、当座預金を増やします。この場合に、この2つの仕訳を下記のように1つの仕訳として処理できるようにしてください。

(借) 当座預金 300 (貸) 売上 300

#### (4) 当座借越

##### ① 当座借越とは？

当座預金に1,000万円あれば小切手に1,000万円と書いて支払いに充てられますが、常に当座預金の残高をチェックしていなければならず面倒です。また、残高が200万円しかないのを忘れていて1,000万円と書いて相手に小切手を渡してしまうと大変なことになります。

そこで、あらかじめ銀行と契約(当座借越契約)を結んでおけば、仮に支払いが残高をオーバーした場合でもそのオーバーした分を銀行が自動で貸してくれる仕組みが出来ます。この銀行からの借入金を「当座借越」と言います。

##### ② 当座借越の仕訳

(例題1) 当座預金残高 800 円。商品 1,000 円を仕入れるために小切手を同額振り出した。銀行とはあらかじめ2,000円までの当座借越契約を結んでいる。

仕訳 (借) 仕入 1,000 (貸) 当座預金 800

(貸) 当座借越 200 ← (借入金の種類)

(例題2) 上記の後に、お金が出来たので当座預金に現金 500 円預け入れた。

仕訳 (借) 当座借越 200 (貸) 現金 500  
(借) 当座預金 300

(解説) 銀行から借りていた当座借越 200 円を先に返済し、残りを当座預金勘定へ。

## (5) 小口現金

### ① 小口現金とは？

例えば、営業部の人があるノートが急に必要になり文房具店に買いに行きたい場合や営業部宛てに宅配便が届き現金で 500 円を着払いしなければならないときに、いちいち経理部の人に稟議書を出して、社長の承認まで取っていたら仕事になりません。

そこで、営業部に毎月 10,000 円を渡して、そこから小さい買い物や急な買い物をさせると経理部もいちいち稟議書を書かずに業務効率が上がります。

この場合のあらかじめ営業部に渡しておく 10,000 円が「**小口現金**」と言います。

### ② 小口現金の仕訳

(例題1) 経理部は、4/1 に営業部に対して小口現金として 10,000 円の小切手を振り出した。

仕訳 (借) 小口現金 10,000 (貸) 当座預金 10,000

(例題2) 4/30 になったので、営業部は 4 月に使った小口現金明細書を経理部に渡した。明細書には、宅配便着払い代金 4,000 円・電車代 2,000 円と書かれてあった。

仕訳 (借) 通信費 4,000 (貸) 小口現金 6,000  
(借) 旅費交通費 2,000

(例題3) 5/1 になったので、経理部は営業部に小口現金が 10,000 円になるよう

に小切手を振り出して補給した。

仕訳      (借) 小口現金 6,000      (貸) 当座預金 6,000

(解説) 毎月 1 日などに営業部の小口現金は 10,000 円に補充するというような  
仕組みを「**定額資金前渡制**」と言い、毎月チェック出来ますので管理面  
でも効果があります。